令和５年度

第５次総合計画　中期戦略事業プラン　事務事業評価シート

事業名	高齢者生きがいづくり推進事業			事業番号	04-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部	土方哲也	介護高齢課高齢者支援担当	栗田由美子	

計　画　（Ｐｌａｎ）

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり
		施策展開の方向	2	みんなで支え合う福祉のまちをつくる
		施策	4	高齢者の地域生活支援の充実
予算事業名	シルバー人材センター運営助成事業費／趣味の教室開催事業費、 老人クラブ助成事業費／地域介護予防活動支援事業費			
事務区分〔選択〕	◉自治事務　○法定受託事務　(選択してください)→		法令上の位置づけ	努力規定がある
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前　～	終了年度	
関連法令等	老人福祉法第2条、第4条：基本的理念、老人福祉増進の責務、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（シルバー人材センター）			
国・県の計画等	第8期かながわ高齢者保健福祉計画		計画期間	令和3年度～令和5年度
関連個別計画	第8期伊勢原市高齢者保健福祉計画		計画期間	令和3年度～令和5年度
実施の背景 （事業を取りまく環境・市民ニーズ）	高齢化が進展する中で、多くの高齢者がその知識や経験を生かして地域を活性化するとともに、地域の支え合い活動の担い手となることが期待されています。 また、地域活動やボランティア活動を通じた仲間づくりや生きがいづくり、健康増進や介護予防の図れる場が求められています。			
目　的 （何をどうしたいのか）	高齢者が知識や経験を身近な地域社会で生かし、生きがいを持って暮らしていくため、多様な就業機会やボランティア活動等の社会参加の機会の提供を図ります。			
主な対象 （誰・何を対象に）	60歳以上の市民			
事業内容 （手段、手法など）	・高齢者の社会参加を促進するため、地域における就労やボランティア活動等を支援するシルバー人材センターの運営を支援します。 ・高齢者の生きがいづくりを推進するため、趣味の教室の開催、老人クラブ活動支援を継続して実施します。 ・高齢者の社会参加及び介護予防を促進するため、介護支援ボランティアポイント事業の定着・拡大を図ります。			

事業行程	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	シルバー人材センターの運営支援	継続実施	継続実施
	趣味の教室の開催	趣味の教室に300人の参加	趣味の教室に300人の参加
	老人クラブの活動支援	老人クラブ会員数2,220人の維持	老人クラブ会員数2,220人の維持

目　標	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	介護支援ボランティアポイント事業登録者数	122人 （令和2年度）	140人	150人

事業実施（Do）

事　業　実　施　　（Ｄｏ）

事業の「取組方針」 （前年度事務事業評価）	コロナ禍の影響により、自粛ムードが解けない状況ですが、高齢者が生きがいをもって日々の生活を営めるよう、コロナウイルスの感染状況に把握し、感染症拡大防止対策を十分に施しながら、各事業や支援等を引き続き実施していきます。

実施方法〔選択・記入〕				
○ すべて直接実施		◉ 左記以外		
☑ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者	伊勢原市社会福祉協議会	
☑ 補助金		補助先	伊勢原市シルバー人材センター 伊勢原市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ	
☑ その他		具体の内容	直営による実施	

実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	シルバー人材センターの運営支援	継続実施	継続実施
	趣味の教室の開催	趣味の教室参加者 190人	趣味の教室参加者 181人
	老人クラブの活動支援	老人クラブの会員数 2,004人	老人クラブの会員数 1,853人

実施した取組の内容	
	・伊勢原市シルバー人材センター、老人クラブへの補助金交付 ・趣味の教室開催 ・介護支援ボランティアポイント事業は、登録者を募る説明会未実施

目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	介護支援ボランティアポイント事業登録者数	122人 （令和2年度）	122人	105人

コスト	年度	令和3年度　実績				令和4年度 実績			
	事業費合計(a)			15,797	千円			15,919	千円
内訳	国県支出金 ①			1,035	千円			1,023	千円
内訳	地方債　②			0	千円			0	千円
内訳	その他特財　③			54	千円			42	千円
内訳	一般財源 (a)-①-②-③			14,708	千円			14,854	千円
	国県支出金の内容	神奈川県高齢者在宅福祉事業費補助金　補助率2／3(老人クラブ) 地域支援事業費の介護予防・日常生活支援事業費(国25%、県12.5%)							
	その他特財の内容　受益者負担	○ 有　◉ 無		前回の改定時期					
	その他特財の内容　その他	地域支援事業費の介護予防・日常生活支援事業費については、介護保険料23%、支払基金27%							
人件費	正規職員	0.05	人	409	千円	0.05	人	429	千円
人件費	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円
人件費	人件費合計(b)	0.05	人	409	千円	0.05	人	429	千円
	トータルコスト (a)+(b)			16,206	千円			16,348	千円
単位当たりコスト	対象数　定義	60歳上の市民			単位	60歳以上の市民			単位
単位当たりコスト	対象数　対象数			32,262	人			32,473	人
単位当たりコスト	総事業費／対象数			502	円			503	円

評価　（Check）へ

評　価　（Ｃｈｅｃｋ）

進捗状況 〔選択・記入〕	○ 計画どおり（A） ◉ 概ね計画どおり（B） ○ 計画どおり進捗せず（C）	B	**左記判断理由**	シルバー人材センターは補助金により、運営の安定化が図られています。老人クラブの活動支援として、補助金を交付しました。また、コロナ禍の影響もあり、趣味の教室は、感染症対策を施し、開催しました。ボランティアポイント事業については、高齢者施設等のボランティアの活動受入を継続的に中止していたことから、登録者数を増やすことができませんでした。
実施水準 〔選択・記入〕	○ 他市より高い水準で実施（A） ◉ 他市と同水準で実施（B） ○ 他市より低い水準で実施（C） ○ 一律に比較できない事業	B	**他都市の事業内容等**	シルバー人材センターの補助金の補助率は、他市と同水準としています。また老人クラブ活動については、近隣市とブロック活動等の交流により、他市の活動を参考にするなど同水準を維持しています。
有効性 〔選択・記入〕	○ 高い（A） ◉ 普通（B） ○ 低い（C）	B	**左記判断理由**	高齢者の生きがい事業を実施することで、高齢者が健康を保持し、心豊かに日常生活を営むことができ、同時に社会貢献の場を提供することができています。
効率性 〔選択・記入〕	◉ 効率的に実施されている（A） ○ 改善の余地がある（B） ○ 抜本的な改善が必要である（C）	A	**左記判断理由**	シルバー人材センターは、高齢者が引き続き仕事をする場や機会の提供していること、また、地域でのボランティア活動にも取り組んでいることから、そこへの支援は非常に効率的です。

取組内容の改善　（Action）へ

取組内容の改善　（Ａｃｔｉｏｎ）

所管部長による総評	高齢者が長年培ってきた優れた技術や経験、知識等を発揮できる活躍の場、社会参加の場の確保に努めていくことで、生きがいづくりに繋がり、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく過ごせるよう支援を行っていく必要があります。